

オーストラリア オレンジ市場は輸出で成長

[FreshPlaza](#) 2025年6月30日

オーストラリアのオレンジ市場は、健康意識の高まりと栄養豊富な食品に対する需要の増加により、2025年から2034年の間に年率(複利)2.20%で成長すると予測されている。ビタミンCと抗酸化物質が豊富なオレンジは、自然で機能性のある食品を求める健康志向の消費者の間で高い需要がある。これによって、生鮮オレンジとオレンジを原料とする製品の両方で消費が増加した。有機農法や持続可能な方法で栽培された農産物を好む傾向の高まりは、オーストラリアの生産者が環境に優しい農法を採用することをさらに後押しした。

オーストラリアは、中国、日本、韓国及び東南アジア諸国に大量のオレンジを出荷しており、輸出は市場の成長に重要な役割を果たしている。オーストラリア産オレンジは、その優れた品質と安全基準で高く評価されている。CPTPP(環太平洋パートナーシップに関する包括的及び先進的な協定)、RCEP(地域的な包括的経済連携)等の自由貿易協定は、関税の90%以上を撤廃することで市場アクセスを改善し、オーストラリア産オレンジの世界的な競争力を高めた。

農業技術の進歩により、オレンジの生産が増加している。精密農業、近代的な灌漑、及び病虫害防除システムにより、収量と果実の品質が向上した。研究によって、より優れた耐病性と高い栄養価を持つ新品種が導入され、この分野の長期的な持続可能性を支えている。

オレンジ果汁は、依然として市場で有力な分野である。オーストラリアの消費者は、加工度が最小限で人工添加物を含まない、コールドプレスされた新鮮な果汁を選択することがますます増えている。一方、オレンジ抽出物とエッセンシャルオイルは、食品、化粧品及び製薬業界での果実の用途を拡大している。

地元調達への傾向も市場に利益をもたらしている。消費者は環境への意識を高めており、オーストラリア産の農産物に対する需要が高まっている。小売業者やフードサービスの提供者には、その新鮮さと品質から、国内産のオレンジが好まれている。オンラインプラットフォームを通じた消費者への直接販売や「農場から食卓まで」の取組みにより、生産者はより広範な市場に手が届くようになっている。

政府と業界の支援は、市場の発展に役立ってきた。研究、イノベーション、輸出機会及び持続可能な農法を促進する取組みは、オーストラリア産柑橘類の競争力を維持するのに役立っている。強固なバイオセキュリティと国際基準の遵守は、同国の世界的な評判を強化するものである。

前向きな見通しにもかかわらず、課題は残っている。干ばつや猛暑などの気象リスクは、収量を減らし、果実の品質に影響を与える可能性がある。また、生産コストの上昇、労働力不足、サプライチェーンの混乱も障害をもたらす。しかし、技術革新と持続可能性への継続的な投資により、これらの問題が軽減され、オレンジ業界が逆境から回復する力が強化されることが期待されている。

健康志向、輸出需要、持続可能性への関心がそれぞれ高まる中、オーストラリアのオレンジ市場はこれからの10年間で安定した成長が期待される。

出典: Research and Markets